答弁は、適正規模や再編基準は「再検討しない」としたうえ、説明会の時期や方法、意見を聞く時期など、ことごとく「検討中」と市の態度を明示せず議論を避けました。

幼稚園再編等答申には「園児数だけで判断しない」「地域性を考慮する」「保護者や地域の方に丁寧に進める」と明記されています。しかし市の答弁は、再編を検討する段階で意見を聞くのか、決定後に理解を求めるために説明するのかも、少なくとも署名や要望が出されている地域との意見交換を持つことなどについてさえも「検討」でした。これには驚きました。保護者や地域の意見を聞く耳を持たず、強引に再編計画を策定しようとしているのではないか、との疑念を強くしました。

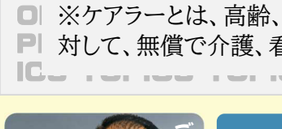
▶ 市民と対話を　子育てに税金を

答弁からは、保護者や地域の意見を聞く姿勢は感じられません。逢坂保育園廃止、幼稚園教員の賃下げなど、市民の意見を聞かず進めた悪しき前例をまた繰り返そうとしているとの疑念を強くしました。

子どもは「数」ではありません。**少子化だからこそ、一人ひとりを大切にする教育・保育にこそ税金を使うべきです。保護者・地域の声を置き去りにした機械的な統廃合に反対し、引き続き追及します。**

※隠れ待機児童…特定の園を希望する場合や育児休業中などで、待機児童の定義から除かれる児童

関係する主な憲法・法律の条項



憲法第 13 条（個人の尊重・幸福追求権）
憲法第 25 条　すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
憲法第 27 条　すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ。
憲法第 26 条（教育を受ける権利、教育の機会均等）法令上の教育条件を確保する責任
憲法第 92 条（地方自治の本旨）

●主な議案等の採決結果●　非核三原則堅持市議会意見書可決!　議長除く35人（2名欠員）【9月議会】

◆「非核三原則の堅持を国内外に明確に示し核兵器のない世界実現に向け主体的役割を果たすことを求める意見書」及び「比例代表のみの定数削減に反対し選挙制度全体の丁寧な議論を求める意見書」
…… 賛成 18（平和と市民自治・中川、公明党、共産党、市民ネットほか）可決

◆「地域の声を十分に聴き地域の実情に応じた大津市立幼稚園の再編等を検討することを求める請願」
…… 賛成 16（平和と市民自治・中川、共産党、市民ネットほか）否決

TOPICS トピックス　滋賀県初のケアラー支援条例制定へ

大津市議会では、一昨年より「大津市におけるケアラーに対する支援の推進に関する条例」を議員提案でつくろうと議論が始まり、昨年より全会派が参加する政策検討会議で学習や当事者からの聞き取りをはじめ議論を重ねてきました。現在、条例案をつくりパブリックコメントから最終検討に入っており、来年２月議会で制定する予定です。

私も、一昨年の議論の最初から関わってきました。**私は、ケアラーの権利保障を大切にして、「市民参加」で当事者とともにつくり、施策を評価し、改善していくことのできる条例にすることが必要と提案してきました。滋賀県では初の条例になります。より良い条例にしていきます。**

※ケアラーとは、高齢、障がい、疾病その他の理由により援助を必要とする家族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を行うものをいいます



中川てつや ブログ　中川てつや Facebook　平和と市民自治の会 ホームページ

平和と市民自治
2026年10月20日 NO.41 平和と市民自治のまち大津をともにつくる会
大津市長等二丁目8番2号 〈HP〉https://www.heiwa-otsu.org
電話 090-7090-6579（中川てつや）

保護者・地域の声置き去りの幼稚園再編―
少子高齢化社会だからこそ―

市民の声に向き合う「対話の市政」を

来年4月改定

介護保険料値下げを実現させよう



代表 大津市議会議員
中川てつや

▸1957年 広島県三原市生まれ。軍属だった祖父が原爆投下後の広島で入市被ばく。その体験を聞き社会問題に関心を持つ ▸大阪市立大学経済学部卒業。地方行政に携わる。元大津市課長。真愛保育園父母の会会長を務める ▸2005年 憲法9条を生かす「大津市無防備平和条例」制定へ大津市で初めての直接請求運動を請求代表者として担う ▸2022年度坂本1区自治会長 ▸2023年 大津市議会議員初当選 ▸坂本第1区自治会顧問/坂本学区文化協会会長/坂本青少年育成学区民会議会長/坂本学区自主防犯推進協議会相談役 ▸坂本二丁目在住。趣味：読書、野球観戦

▶▶▶ 紙 面
〔2面〕映画「ヒンド・ラジャブの声」をみて
〔3面〕一人ひとりを大切にする幼児教育・保育を
〔4面〕滋賀県初のケアラー支援条例制定へ 他

皆様。会ニュース 41 号をお届けします。

９月議会で私の一般質問に際しましては、多く方が直接来場され、またオンラインで傍聴いただきました。大変力になりました。ありがとうございました。

市は市民と対話を

９月議会の幼稚園再編統合の質問に対する答弁からは、大津市が保護者や地域の意見を聞く姿勢は感じられませんでした。逢坂保育園廃止、幼稚園教員の賃下げなど、市民の意見を聞かず進めた悪しき前例をまた繰り返そうとしているとの疑念を強くしました。市は市民との対話をすべきです。詳しくは後段と３面をご覧下さい。

来年の介護保険料 前回に続き引き下げを実現させよう

来年２０２７年は介護保険料の３年毎の改定の年です。大津市でも来年４月に改定されます。保険料は介護保険発足の２０００年から全国平均で２倍以上になっており、高齢化が進む中で国や自治体の財源を増やさない限り介護保険料は値上げされてしまいます。

前回改定時、大津市では上がり続けていた介護保険料の１０％値下げを実現しました（標準保険料６３５０円から５７１５円へ）。介護保険発足から初めてのことです。この介護保険料の引き下げは、市民による保険料引き下げを求める市長あて署名や請願提出、議会での追及により実現しました。物価高騰の中で暮らす市民の声と議会活動を結んで市政を動かしたのです。大津市では令和７年度末時点での介護給付費準備基金の残高は約３５億円もあります。次回改定でも値下げは可能です。ぜひ、値下げさせましょう。署名にご協力をお願いします。

介護保険料の推移

介護保険料基準額（月額）	第１期 2000年～	第８期 2021年～	第9期 2024年～
全国平均	2911円	6014円	6225円
大津市	・・・・・	**6350円**	**5715円**

〈次ページに続く〉

9月議会で追及しました

幼稚園再編で保護者・地域の声を聞くことを追及

適正規模や再編基準は「再検討しない」としたうえ、説明会の時期や方法、意見を聞く時期など、ことごとく「検討中」と市の態度を明示せず議論を避け、「双方向の意見交換を」との追及にも回答を回避。（３面参照）

幼稚園設置基準違反を正すため新採教員配置を

答弁は「課題（幼保の給料表の統一など）を整理した上で、採用等幼稚園への教育保育職の配属ということができるので現在のところ（採用は）未定」とのこと。いずれにせよ問題があるうちは幼保間の異動はできないのだから、教育保育職として幼稚園に配属し、給与上の問題が解決されてから異動すればよく、教育保育職を幼稚園に配置することは問題ないと追及しましたが、「別採用はできない」という的外れの答弁でした。

災害時の自主運営避難所として自治会集会所の改修支援を追及

３月の防災対策特別委員会委員長報告の「自主運営避難所になり得る地域の施設に対する改修支援など行政からのより具体的な支援の検討が必要」を受けて、要望のある自治会館を自主避難所として改修支援することを追及。しかし、既存の自治会館の３０万円の改修補助金を活用せよとの答弁で、地域の災害対応力と市民の避難行動にまったく着目しないものでした。

想定外の道路冠水から市民の命を守る対策を

今後も危険箇所の把握に努めながら対応するとの答弁。ハザードマップは見やすくわかりやすいデザインとするとの回答でした。

※質疑の全文は当会ホームページに掲載しております。
なお、公式記録ではありませんのでご了承ください。

2つの署名にご協力ください

「子どもや子育て世代、高齢者に優しい大津市を」
「介護保険料を上げないで」大津市長あて要請署名

左がオンライン署名、右が署名用紙です

子どもや子育て世代、高齢者に優しい大津市を ▶▶

介護保険料をあげないで ▶▶

中川質問録画配信

大津市議会
議会中継システム

声 映画「ヒンド・ラジャブの声」をみて

会員 N

映画「ヒンド・ラジャブの声」を観ました。実際の緊急通報の音声を元に制作されたものです。

2024年1月29日に人道支援組織「赤新月社」のスタッフが、パレスチナ・ガザ地区で助けを求める6歳の少女ヒンド・ラジャブからの緊急通報を受信しました。

ガザ地区はイスラエルに占領されているため、救急車で8分の距離でもイスラエル側に許可されなければ出動することができません。イスラエル軍に攻撃され救急隊の命を危険に晒すからです。パレスチナの土地でありながら、決定権は戦争犯罪を繰り返すイスラエルにあるのです。赤新月社のスタッフは少女を助けようと懸命に努力します。

6歳の少女と赤新月社スタッフとの実際の通話音声が何度も流れます。「はやく迎えに来て」「戦車が近づいてくる」「戦車が撃ってくる」という言葉とその後ろにひびく砲撃の音、その叫びに応えようと葛藤する赤新月社のスタッフの姿に、助かって欲しいと自分ごとのように祈り続けている自分がいました。なんですぐに助けられないんだと無力感や焦燥感も感じ怒りが湧いてきました。

今もガザ地区、パレスチナではイスラエルの攻撃が続き多くの命が失われています。世界はパレスチナで起きていることから目を背け、イスラエルの戦争犯罪を許しています。戦争、侵略は理不尽に命を奪っていきます。決して他人事ではありません。

パレスチナで起こっていることを知ってもらうためにパレスチナ写真展、絵画展や街頭行動を仲間とやって来ました。ヒンドの叫びを忘れずパレスチナに自由と平和が訪れるまで地域から声をあげ続けて行きたいです。

シリーズ とことん憲法生かす市政を ［その３９］

少子化時代の待機児童・市立幼稚園再編統廃合をどう考える?

子どもは「数」ではない 一人ひとりを大切にする幼児教育・保育を



～対話の市政で人にお金を使う市政への転換こそ～

全国各地で、少子化を理由に公立の幼稚園や保育園の統廃合が行われています。たしかに少子化は深刻です。しかし機械的に統廃合するのは間違いです。どう考えるべきでしょうか。

▶ 待機児童認定の怪

こども家庭庁の発表によれば、保育園に入れなかった子ども６万３，８８３人のうち、待機児童とされたのはたった約４％の２，４３５人で、１０年前の２６％から激減。９６％の子どもは、「特定の園へ希望している」などの理由で待機児童とみとめられません。特定の保育園希望や育児休業中の方、幼稚園や認可外保育所に入所したりした待機児童としてカウントされない児童数は、「隠れ待機児童」（※）と呼ばれて、公式には問題にされていません。

しかし、それでいいのでしょうか。「特定の園」と言っても、兄弟姉妹で同じ園に通わせたいと思うのはどこの親も同じ。送り迎えや園の行事など手間暇が全然違います。また、「特定の園」も基準は自治体まかせです。共働きで「上の子二人と同じ園に入れなかった」との声は私も複数聞いています。これが待機児童に入らないのは、なんともおかしな話です。

▶ 「保育園落ちた日本死ね!」から10年 変わらない保育園に入れない子ども

２０１６(H28)年、「保育園落ちた日本死ね!」の言葉が日本を席巻してから１０年。国の公表では待機児童は２３，５５３人(2016年)から２，４３５人(2026年)と１０分の１に。しかし、保育園に入れない子どもは９０，９０７人から６３，８８３人と３割しか減っていません。隠れ待機児童は６７，３５４人から６１，４４８人とそんなに変化はありません。

つまり、隠れ待機児童を広く認定して、みせかけの待機児童数を減らしてきた、と言えます。



議会で追及する中川てつや

▶ 隠れ待機児童含めた390人の解消こそ

大津市では、２年連続待機児童日本最多(24年184人・隠れ待機児童332人、25年132人・隠れ待機児童405人)から、今年は３１人、隠れ待機児童は３５９人でした。待機児童は減少したとはいえ、３１人は全国で１９番目で県内では最多です。「隠れ待機児童」は、２年前の３３２人より多く高止まりです。

待機児童を「数字」としてとらえるのでなく、待機児童や隠れ待機児童の生じる傾向と実態、保育士の充足率や実質的な定員は何人なのかなど、その実態をしっかりつかみ、隠れ待機児童の解消を政策課題に明確に掲げてこそ、少子化時代の一人一人のこどもを大切にする政策となります。そこに税金を重点的に投入すべきです。

▶ 9月議会で幼稚園再編を追及 保護者・地域の声を置き去りにするな

私は、９月議会で、少子化だからこそ子ども一人ひとりを大切にする就学前教育をとの立場から、公立幼稚園２８園を１０年後に１７園へ統廃合する計画について、幼稚園の再編「適正規模」や統廃合「再編基準」、地域・保護者の意見をどう計画に反映するのかを質問・追及しました。

〈次ページに続く〉